萩尾機械工業株式会社

精度の高い溶接・機械加工技術を誇り
受配電設備を収める気密容器の製造は年間200台以上

想定分野　電気系統 ❯ 受配電設備用気密容器

鉄道・電力関係の受配電設備用気密容器製造に強み

製缶・溶接、機械加工、組立、試運転までを自社で一貫生産できる設備と、長年の経験に裏付けされる卓越した職人の技術力を有する萩尾機械工業。**主に鉄道や電力関係の「受配電設備用気密容器」を製造しており、年間200台以上の納入実績を有する。この部品は、絶縁ガスを充填するため確かな気密性が求められる受配電設備の要。**同社は、高精度な溶接、機械加工技術で気密性を高めるとともに、シール面の加工レス化などの低コスト気密容器にも対応。新居浜市に製缶・機械加工の一貫工場を構え、4台の五面加工機をはじめ、超大物から小型精密部品まで生産できる工作機械設備を完備。オーダーメイドやミクロン単位の加工技術を有し、気密容器に付帯する機械部品までトータルで提案できる。

材質：SUS（ステンレス鋼）、SS400（一般構造用圧延鋼材）、生産能力：年間約200台、製造サイズ・重量：1000㎜×2000m（洋上風力発電の場合は600㎜×1000㎜程度と想定される）、100kg～1.5t　板の厚み：6㎜～12㎜

採用実績・施工例

加工レスの気密容器を実現

薄板での溶接構造気密容器の加工レスを実現。機械加工を省略し、職人の手仕上げでガスシール面を平滑に仕上げる技術を確立した。機械加工の工程が減ることにより、低コストを実現。サイズや仕様に応じて部分的に機械加工、加工レスを組み合わせることも可能。

鉄道関係や電力会社へ年間200台以上の納入実績

顧客は鉄道関係を中心に、電力会社、工場、商業施設など多岐にわたる。それら受配電設備における気密容器の納入実績は、年間200台以上。先進の機械加工設備と職人の技術力で、オーダーメイドの気密容器を製造し、高い評価を得ている。

主要設備機械

- 門型五面加工機：5200×2500×1500～2000／3台
- 門型五面加工機：4200×2150×1500／1台
- Φ130NC横中ぐり盤：3000×2150×1500／1台
- Φ110NC横中ぐり盤：2000×1500×1450／2台
- 縦型CNC旋盤：最大加工径φ920／1台
- 横型マシニングセンター：最大1100×850×750／2台

会社情報

事業内容／受配電設備用気密容器の製造、産業機械部品の製造（製鉄・重機・船舶）
所在地／〒792-0868 愛媛県新居浜市松の木町1-17
設立／1934年11月　資本金／2,545万円　従業員／47名
代表者／代表取締役社長 萩尾 龍彦　TEL／0897-32-2700
事務所／新居浜市
首都圏担当／生産管理課
E-mail／info@hagiokikai.jp
URL／https://www.hagiokikai.jp/